

国は「地元の理解を得る」を反故にして、来年3月29日から都心上空飛行の運用開始を公表しました。8月30日の早朝から、小型機による試験飛行が始まっています。

東京・生活者ネットワーク 「23区羽田問題プロジェクト」 緊急学習会

日時●2019年9月30日(月) 15:00 ~ 17:00

場所●東京・生活者ネットワーク 4F 第1・第2会議室

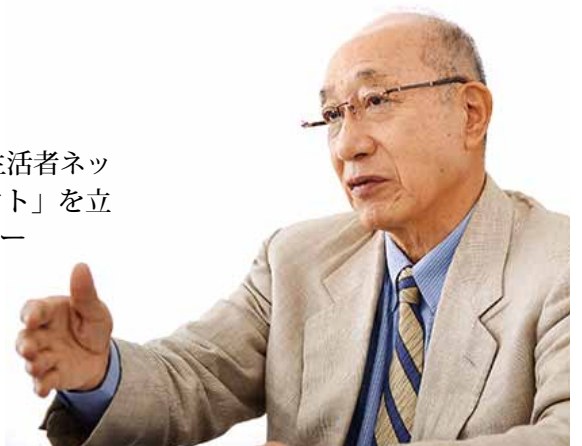
講師●杉江 弘さん(航空評論家 エッセイスト 元JAL機長)

主催●東京・生活者ネットワーク

対象：生活者ネットワーク会員・その紹介者

羽田空港増便計画に伴う都心上空新飛行ルート計画に対して、東京・生活者ネットワーク 23区エリア会議は、いち早く「23区羽田問題プロジェクト」を立ち上げ活動してきました。2016年9月21日には、「羽田空港増便・飛行ルート変更計画の撤回を求める要望書」を国交省に提出。以来、東京都議会への請願活動、国交省ヒアリングや国交大臣に宛て合理的代替案を求める要請行動などへと進め、2017年10月/2019年7月と、ルート直下の品川区内で400人規模の白紙撤回を求める集会を、ネットメンバーも実行委員参加しながら催したところです。

つい先日は、「東京都が、都心低空飛行の固定化を前提に、第五滑走路を造るよう要望している」といった読売新聞のスクープ報道が…。都側はその事実はないと否定にやっきとの記事も出されていますが、新飛行ルート運用後には、なし崩し的に、国や東京都は住民生活をないがしろにした施策を進めていくことが危惧されます。羽田空港機能強化と都心低空飛行ルート問題が、地域限定の問題ではすまない深刻な東京問題となっている今、東京のローカルパーティとして、その問題性をきちんと理解し対応することが必要です。米空軍が管制する横田空域を避けるように都心を低空飛行する計画がいかにも無謀か！ 世界に類例のない危険極まる愚策か！ 航空評論家の杉江弘さんに聞く緊急学習会に、多数の参加をお願いします。



すぎえ・ひろしプロフィール●航空評論家 エッセイスト 元JAL機長ジャンボジェット(B747型)飛行時間で世界一の記録を更新中のレジェンド。安全推進部調査役時代には日本航空の重要な安全運航のポリシーの立案、推進に従事し、特に「スタビライズド・アプローチ」と呼ばれる飛行方式は現在では広く航空界全体に採用されて安全運航に寄与している。執筆・講演の主なテーマは航空の安全問題(最近ではLCCについて)、危機管理リスクマネジメント、日本と世界の文化の違いなど。